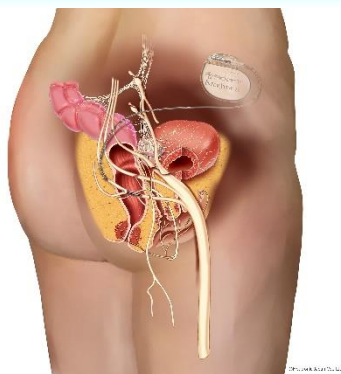
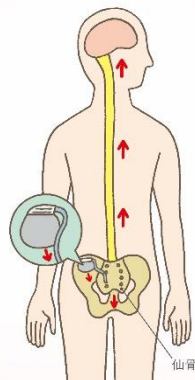


仙骨神経刺激療法（Sacral Neuromodulation:略称SNM)について

SNMとは、仙骨神経を電氣的に刺激することにより尿失禁の症状改善を目的とした最新の療法です。海外では20年程前から実施されており、既に広く普及しております。本邦では2017年9月に過活動膀胱の適応となりました。



©Medtronic Japan Co., Ltd.

画像提供：日本メドトロニック社

手術について

手術は2回麻酔をかけて行います。最初の手術でリード線のみ挿入し1～2週間、体外式の試験刺激装置をつないで治療の効果を確認します。効果が認められた場合のみペースメーカーのような小型の刺激装置をおしりに植え込む手術を実施します。効果が認められないと判断された場合はリード線を抜いて、手術前の状態に戻します。

効果について

米国臨床試験の結果では1週間の失禁回数は植え込みを実施した患者さん21例中18例（85.7%）で術前と比較して術後6ヶ月で50%以上の改善が見られました。

副作用について

植え込んだ部位の感染や痛み・意図しない刺激の変化などの報告があります。症状によっては刺激装置を抜去することもあります。

費用について

国民健康保険が適用されます。また高額療養費制度の対象となります。

詳細については当科SNM認定医師 関戸、竹内、澤田までご相談ください。